



こぶし通信

2022年1月号
武蔵野総合病院在宅事業部



鏡開きとは？

鏡開きとは、1月1日に正月飾りの鏡餅を下ろして食べる行事のことです。

年神様が宿っていた鏡餅には魂が吹き込まれているとされます。その力を授かり家族の無病息災の願いを込めて、鏡餅を食べるまでが鏡開きです。お雑煮やお汁粉にして食べるのが一般的です。



あけましておめでとうございます 本年もよろしくお願ひ致します

当事業所は2020年10月1日に開設しておかげさまで1年2か月が過ぎました。これもひとえにお世話になっております利用者様、居宅介護支援事業所の皆様、連携を頂いております施設の皆様のご協力を頂いておりますお陰と存じております。

開設以降「最後まで家に居たい」「お家でみてあげたい」という利用者様やご家族様に寄り添い、在宅療養やお看取りのお手伝いをさせて頂いております。これからも地域の皆様が、その方らしく安心して過ごすことが出来るように看護を通してお支え致します。

理学療法士
青木 陵佑



ハートフルStoryシリーズ第八弾 訪問看護日記



春の七草

七草全部言えますか？

- せり**: 水辺の山菜で香りがよく、食欲増進になずな: 別称はペンペン草。江戸時代にはポピュラーな食材
- ごぎょう**: 別称は母子草。草餅の元祖。風邪予防に使われた
- はこべら**: 目によいビタミンAが豊富で、腹痛の薬にもなった
- ほとけのぎ**: 別称はタビラコ。タンポポに似ている、食物繊維が豊富
- すずな**: カブのこと。ビタミンが豊富
- すずしろ**: ダイコンのこと。消化を助け、風邪の予防にも

七草がゆを食べるのはどうして？

毎年1月7日、一年の最初の節句である「人日の節句」に七草がゆを食べるのは、七草の若芽を食べて植物がもつ生命力を取り入れ、無病息災でいられるようにという願いが込められています。



こんにちは、理学療法士の青木です。以前の職場ではデイサービスに努めており、地域社会で生活するためのリハビリテーションの重要性や「病院での知識があれば…こんなことを病院でやってくれれば…」と思うことも多くありました。地域医療に貢献できるよう医療の知識を身につけるため、現在は病院内にて患者様にリハビリテーションを提供しています。病院での経験を積み今後は訪問サービスで退院後の自宅での生活を支援したいと考えておりました。今回訪問リハビリに関わらせて頂く事になり、住み慣れたご自宅で利用者様のお力になれることをうれしく思います。利用者様の生活環境を伺いながら、安全な環境の提案や、生活動作の提案が出来るよう、支援できるよう一生懸命関わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

こぶし武蔵野訪問看護ステーション 電話049-293-1706

訪問栄養相談・訪問リハビリも

住所: 川越市大袋新田777-31

行っておりますお気軽にご相談ください

訪問看護空き状況

	午前		午後	
	9-11	11-13	13-15	15-17
月	△	△	△	△
火	△	△	△	△
水	×	×	△	△
木	△	△	△	△
金	△	×	△	△
土	△	△	×	△
日	要相談			

2021年12月末現在の情報です

◎ 空きあり ○ 余裕あり
△ あとわずか × 空きなし

お気軽にお問い合わせください

こぶし武蔵野訪問看護ステーション
049-293-1706